

01

創刊号

2019

放射線情報まとめニュース

ライフとみおか

Contents

PAGE 1-2 夜ノ森駅の再開に向けた特定復興再生拠点区域の除染状況

3-4 長崎大学のリスコミ！

5 旬！な自家製食材放射性物質情報

6 なぜなに？放射線まとめサイト



Cover photo 夜ノ森駅周辺の空撮写真

夜ノ森駅は、福島県双葉郡富岡町字夜の森北一丁目にある、JR東日本 常磐線の駅である。

現在(2019年8月)は休止中だが、2020年春頃の常磐線の復旧・全線開通と同時期に再開を予定している。夜ノ森駅の再開に向けた工事の状況を上空から撮影。

夜ノ森駅の再開に向けた 特定復興再生拠点区域の 除染状況

除染実施状況

特定復興再生拠点区域内のうち、先行除染エリアとして夜の森桜並木周辺等の除染が平成29年7月から実施され、平成31年3月に概ね完了しています。

特定復興再生拠点区域の地区分け及び除染計画

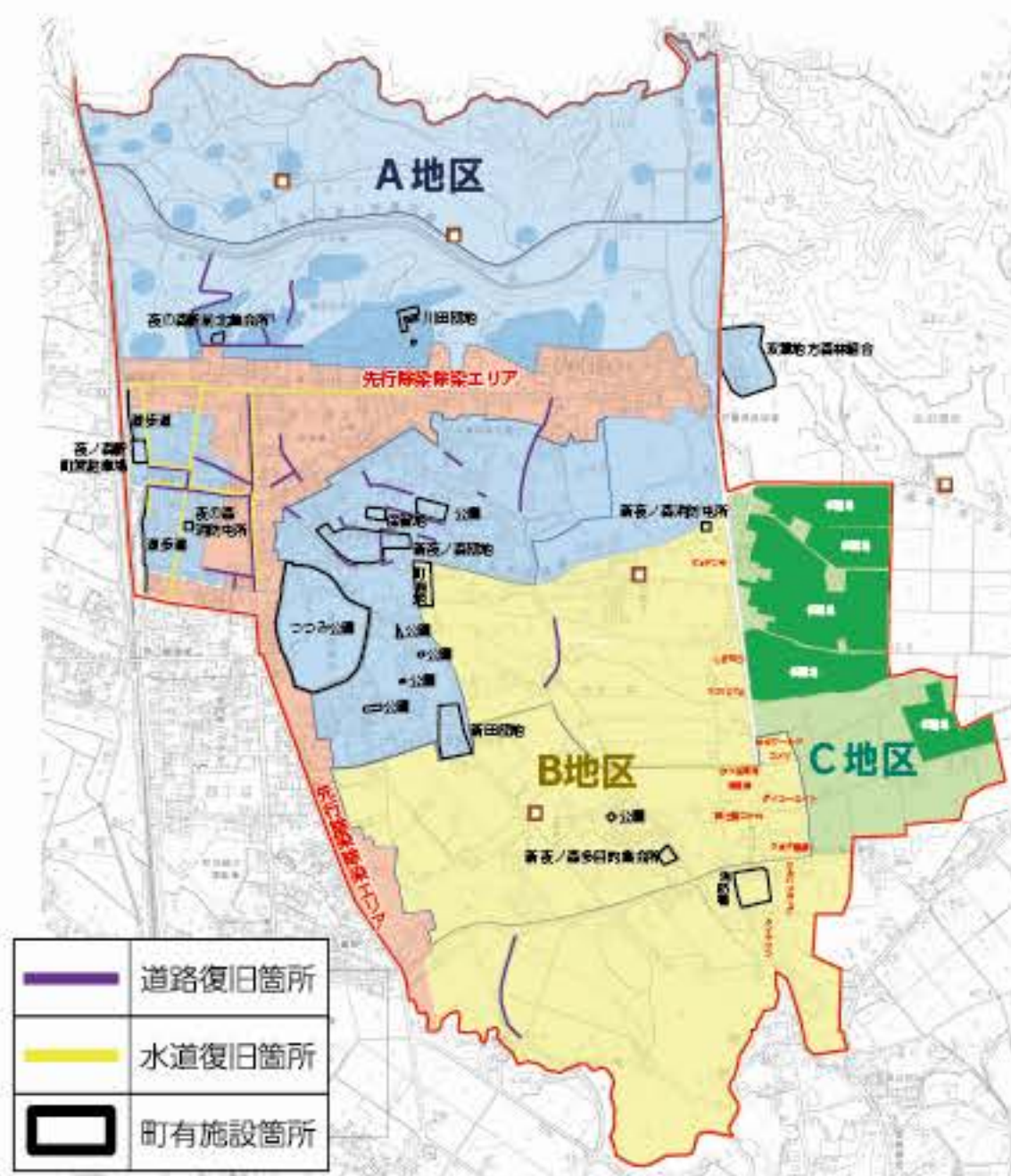
※状況に応じ計画は変更する可能性があります

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
先行エリア	[完了]				
A地区	同意取得	除染/建物解体工事	除染同意や建物解体申請が整ったもの等、作業可能になった画地について順次工事を実施 フォローアップ除染を実施		
B,C地区		同意取得	除染/建物解体工事 ※同意取得状況を踏まえて今後実施		

※富岡町除染検証委員会(第15回)資料2(環境省提供)から抜粋

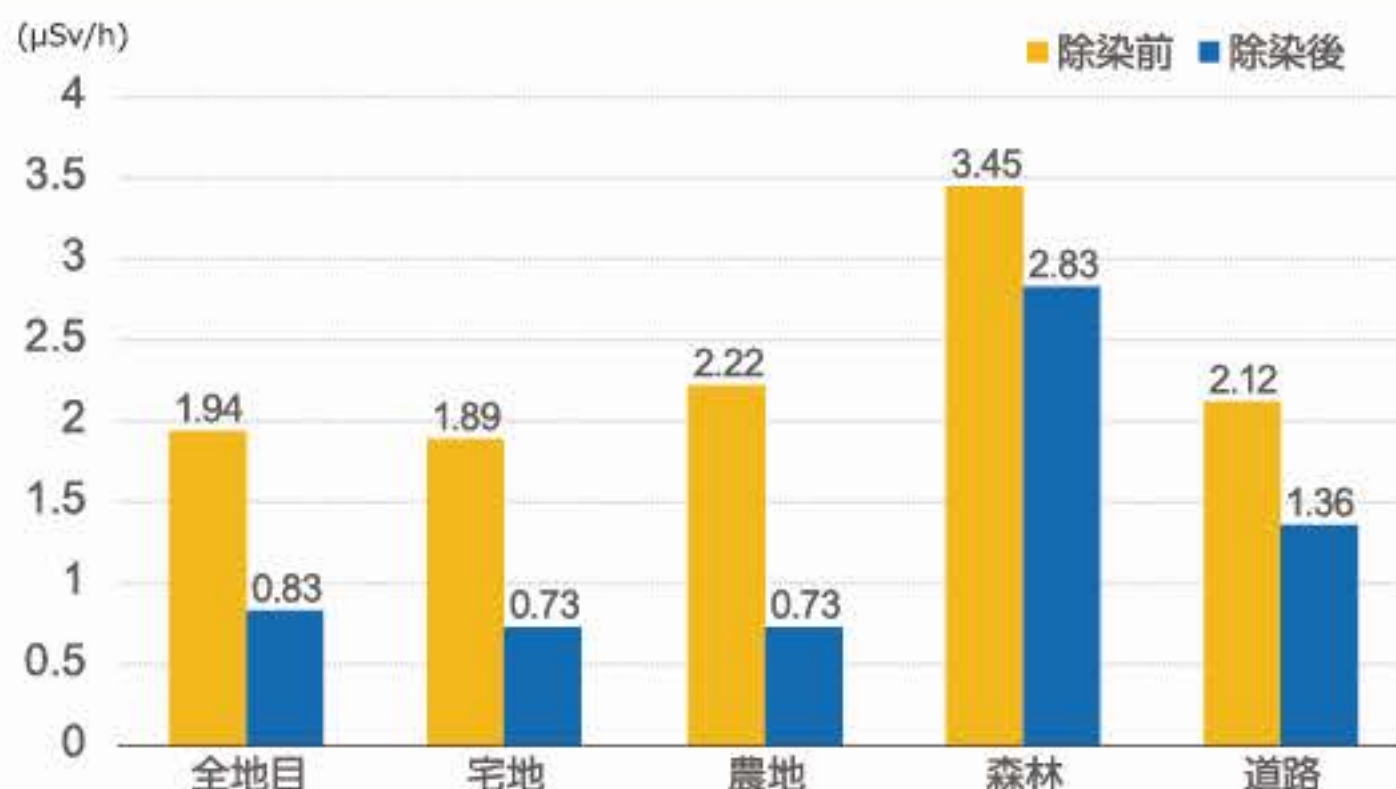
2019年度末頃
夜ノ森駅周辺の避難指示解除

2023年春頃
避難指示解除



空間線量率の変化 (先行除染エリア)

先行除染エリアにおける除染前後の地上1m空間線量率を比較すると、全地目では除染前1.94 μ Sv/hから除染後0.83 μ Sv/hとなっており、約57%の低減が確認されています。また、宅地では除染前1.89 μ Sv/hから除染後0.73 μ Sv/hとなっており、約61%の低減が確認されています。ただし、除染後においても森林は2.83 μ Sv/h、道路は1.36 μ Sv/hとなっており、更なる空間線量率の低減が望まれます。



※富岡町除染検証委員会(第15回)資料2(環境省提供)から抜粋
※除染後は平成30年12月測定

現状からの評価

- ・特定復興再生拠点区域において、除染を実施した箇所では空間線量率が下がっています。
- ・除染後の空間線量率が高い箇所はフォローアップ除染をし、更に空間線量率の低減を図っていきます。
- ・避難指示解除までに、フォローアップ除染も含めて除染を完了し、空間線量率の低減を図っていきます。

特定復興再生拠点区域とは

帰宅困難区域内でも、避難指示を解除して住むことが可能になると定めた区域のことです。復興再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受け、区域内の帰還環境整備に向けた除染・インフラ整備等が集中的に行われています。富岡町の特定復興再生拠点区域全体の解除目標は2023年春頃となっています。



夜ノ森駅周辺の避難指示先行解除(案)における現状

2023年春頃を目標に避難指示解除を目指している特定復興再生拠点区域のうち、JR夜ノ森駅周辺のエリアについては2019年度末に避難指示の先行解除を予定しています。

◆特定復興再生拠点区域内における 先行解除の範囲(案)



- 先行解除の範囲 ※駅までのアクセス道路のみ
- 特定復興再生拠点と避難指示解除済み区域の境界
- 物理的措置(バリケード) ※状況に応じる
- ⊗ ゲート(移設・新設)

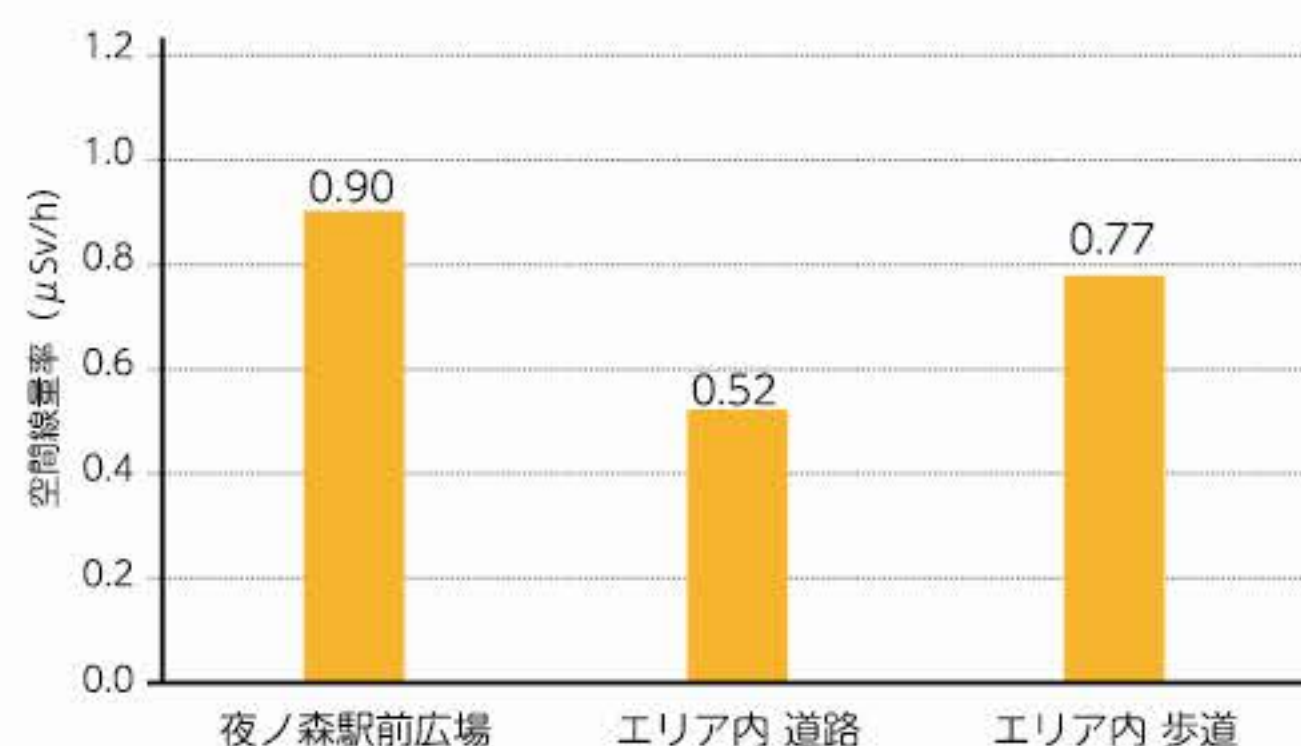
※富岡町資料より ※令和元年6月7日時点

◆避難指示先行解除範囲(案)の 空間線量率(μSv/h)

※nは測定調査ポイント数

	1m			1cm			
	平均	最大	最小	平均	最大	最小	
夜ノ森駅前広場	0.90	1.12	0.63	0.94	1.31	0.55	n=9
エリア内 道路	0.52	0.90	0.32	0.58	1.65	0.23	n=36
エリア内 歩道	0.77	1.50	0.42	1.01	3.69	0.41	n=43

避難指示先行解除範囲(案)の空間線量率(1m平均値)



※富岡町実施測定データから作成 測定日:令和元年5月28日(火)
※引き続き除染実施中

現状からの評価

- ・避難指示先行解除予定の範囲については、一部、除染が完了した部分もあり、解除に向けて準備は整いつつありますが、除染・建物解体を実施中の箇所もあることから、今後も空間線量率の推移について注視していきます。
- ・JR夜ノ森駅構内についても、避難指示先行解除後は人が歩く区域となるため、この区域内の空間線量率についても注視していきます。

長崎大学のリスキミ!

Vol.1 「長崎大学と富岡町の連携とその活動」

みなさんこんにちは!長崎大学です!

皆さん、こんにちは。私たち長崎大学は、2017年4月から富岡町役場に大学の拠点(サテライトオフィス)を設けて活動しています。2011年に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故以降、長崎大学は福島県や福島県立医科大学と連携して、福島県の被ばく医療体制づくりに携わってきました。2013年4月には、

富岡町に隣接する川内村と連携協定を締結し、村内に大学拠点を設置し、住民の被ばく線量の評価、およびその結果をもとにした、放射線健康リスクコミュニケーション活動を行ってきました。また2014年5月には学内に「福島未来創造支援研究センター」を創設し、全学を挙げて福島復興と再生に資する様々な取り組みを実施しています。

富岡町の復興と再生のために

長崎大学がこれまで川内村で培ってきた経験を活かしながら、専門的観点から富岡町の復興と活性化を支援するため、長崎大学は2016年9月に富岡町と連携協定を締結しました。現在では、富岡町役場の健康づくり課と食品検査所を拠点に活動を行っています。具体的には、環境放射能評価や個人被ばく線量の測定を通じた外部被ばく線量の評価に関することや食品等の放射性物質測定を通じた内部被ばく線量の評価に関すること、そして、健康相談や車

座集会などを通じた住民の皆さんとの放射線健康リスクコミュニケーション活動を進めています。



▲協定締結式



車座集会の様子①



車座集会の様子②

車座集会では、富岡の食品などを食べながら、放射線への知識や情報交換をしています。



◎長崎大学と放射線の関わり

長崎は、原子爆弾という再び利用されてはならない核兵器による惨害を経験しました。これらの背景から、長崎大学はこれまで原爆によって被害を受けた方の治療や発症の予防、原爆による被害の実態を明らかにする活動に取り組んできました。これらの教訓を後世へ引き継ぎ、放射線の安全利用や被ばく事故等へ対応していくためにも、今後とも継続的な活動を実施していきたいと考えています。



放射線と健康に関する最新情報をお届けします！

このライフとみおか「長崎大学のリスクコミ！」では、長崎大学が進めている住民の皆さんとのリスクコミュニケーション活動(通称リスクコミ)や、放射線と健康に関する最新の情報について発信していきたいと思えます。本格復

興に向けて富岡町の皆さんと一緒にこれからも活動を継続していけるよう精一杯取り組んでいきたいと思えますので、今後ともよろしくお願ひします。



メンバー紹介

秋田県湯沢市出身
(湯沢高等学校→長崎大学薬学部)薬剤師
たいら やすゆき
平良 文亨さん



避難指示の一部解除後間もない2017年6月から、富岡町内のモニタリング調査を中心に活動しています。

具体的には、戸別訪問をしながら帰還された方の住まい(住居周辺)の空間線量率の測定や土壌の放射能分析を行うとともに、町内で栽培・採取された野菜・山菜・キノコ類などの食品検査について、どの程度のレベルなのか、安全なのか、などについて確認し、住民の皆様や役場等にご説明しています。

また、帰還困難区域では、除染効果の確認も行っています。放射線に関すること以外にも、お薬に関するご相談でも結構ですので、いつでもお声掛けください。



山道モニタリング



土壌採取

環境モニタリングを通じて空間線量や土壌放射能を分析し不安にお答えできるように測定しています。



旬! 自家製な食材放射性物質情報

Radioactive material information

6月から7月(梅雨~初夏)にかけて、食品検査所に持ち込まれることが多い食材について、2018年と2019年の放射能検査結果から最近の傾向などをご紹介します。

6、7月の食品検査状況

※単位はBq/kg

		2018年		2019年				
梅	36検体	不検出(ND)	9検体	31検体	不検出(ND)	22検体		
		50未満	24検体		50未満	8検体		
		50以上100未満	0検体		50以上100未満	1検体		
		100以上	3検体		100以上	0検体		
じゃがいも	6検体	不検出(ND)	3検体	13検体	不検出(ND)	13検体		
		50未満	2検体		50未満	0検体		
		50以上100未満	0検体		50以上100未満	0検体		
		100以上	1検体		100以上	0検体		
夏野菜	トマト	7検体	17検体	不検出(ND)	5検体	3検体	不検出(ND)	3検体
				50以上100未満	2検体		50以上100未満	0検体
	きゅうり	5検体		不検出(ND)	5検体	4検体	不検出(ND)	4検体
				100以上	0検体		100以上	0検体
ナス	5検体	不検出(ND)	5検体	8検体	不検出(ND)	8検体		
		50以上100未満	0検体		50以上100未満	0検体		

※ 不検出(ND) 測定結果が「不検出(ND)」となっている場合には、測定値が検出限界値未満であった事を示しています。

※ 上記の食品検査はすべて非破壊式放射能測定器「そのままはかる NDA」で測定しています。



梅

- 2018年:36件
- 2019年:31件

放射性セシウムの検出割合が昨年の4割ほどに減少し、不検出の割合が3倍ほど増加したことから、放射性セシウムによる影響は少なくなっている印象です。

昨年の放射性セシウムの検出事例は27件(75%)で、そのうち基準値(100Bq/kg)を超えたのは3件、不検出は9件(25%)でしたが、今年の検出事例は9件(29%)のみで、基準値を超えたのは1件、不検出は22件(71%)でしたので、全体的には放射性セシウムによる影響は少なくなっている印象です。



じゃがいも

- 2018年:6件
- 2019年:13件

放射性セシウムの検出事例は昨年の3件のみで、今年は全て不検出でしたので、放射性セシウムによる影響はほとんどない印象です。

放射性セシウムの検出事例は昨年の3件(基準値超過:1件)のみで、それ以外は全て不検出でした。じゃがいもは土壌の影響を強く受けそうなイメージかもしれませんが、じゃがいもの約8割は水分が含まれています。一般的に水分が多い食材は放射性セシウムの影響は受けにくいと考えられますが、検査結果からその事が確認できます。



夏野菜 トマト、 きゅうり、ナス

- 2018年:17件 ●2019年:15件

放射性セシウムの検出割合が昨年の4割ほどに減少し、不検出の割合が3倍ほど増加したことから、放射性セシウムによる影響は少なくなっている印象です。

放射性セシウムの検出事例は、トマトで昨年2件(極低量)の検出事例がありますが、それ以外は全て不検出でした。野菜は水分を多く含んでいますので、じゃがいも同様、放射性セシウムの影響は受けにくいと考えられます。



なぜなに?

放射線情報まとめサイト

富岡町の放射線情報を“まとめ”たウェブサイトが2016年から開設しています。ウェブサイトをなかなか見ない方への放射線情報の提供としてウェブサイトを紙面で“まとめ”ていきます。



今回のテーマ / 食品検査所について

富岡町食品検査所ってなに?

「富岡町食品検査所」とは、放射線や放射性物質測定に関する不安や疑問をより分かりやすく、解消できるように富岡町役場敷地内に開所した施設のことです。2019年本格稼働!

なにができるの?

- 食品や土壌、水に含まれる放射性物質の測定
 - ・ゲルマニウム半導体式放射能測定器による放射性物質測定(食品・土壌・水等)
 - ・非破壊式放射能測定装置『そのままはかる NDA』での放射性物質測定(食品)
- 放射線に関する相談窓口
- 個人被ばく線量計の貸出



自宅で作った野菜や飲み水(井戸水)についてどれくらい放射性物質の濃度があるか測ったり、どのくらい放射線の影響を受けているかを知るために測定器を貸してくれたり、職員さんに放射線の相談に乗ってもらったり、が出来る場所です。



検査所にて働いている職員の方



ゲルマニウム半導体式放射能測定器

次号以降のテーマで食品検査所の様々な“できること”もご紹介します。放射線について気になることがあれば、まず「富岡町食品検査所」へ!お電話でのご相談も受け付けています。

不明点やご要望については担当までお気軽にお問い合わせ下さい。

富岡町役場 健康づくり課 放射線健康管理係

TEL.0240-22-9003 ☎0120-33-6466

受付時間:月~金曜日の8:30~17:15(祝日・年末年始を除く)

とみおか放射線情報まとめサイト

<https://tomioka-radiation.jp/>



NEWS

2019年「ライフとみおか」発行

富岡町の放射線情報をまとめたウェブサイトが2016年から開設しています。

空間線量測定、放射性物質測定、町内の除染に関する情報など町が、独自に実施している放射線関連の測定結果や町に関連する放射線情報を掲載しています。

この「ライフとみおか」では、ウェブサイト内で取り上げている様々な情報をピックアップして、分かりやすく掲載していきます。

とみおか放射線情報まとめサイト

<https://tomioka-radiation.jp/>



PREVIOUS YONOMORI STATION

ライフとみおか

発行・編集 富岡町役場 健康づくり課

〒979-1192 富岡町大字本岡字王塚 622 番地の 1
TEL.0240-22-9003 FAX.0120-33-6466

創刊号 2019年10月発行